

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	片上 修二郎	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	田坂 恒輝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	1人	1人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			全員参加で事業所自己評価に取り組むことができている。 今後も臨機応変に対応しながら多様なニーズに応えてほしい。	
B. 事業所のしつらえ・環境			地域のお店や公共機関の中にとても対応のよい所がある。良い所は見習って更に入りやすく身近な場所となるよう努めてほしい。	事業所が身近な場所となるように、誰に対しても気持ちの良いあいさつを心がけ、居心地の良い環境を自分たちで作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり			今後も地域との関わりを大切にしながら、事業所のPRも続けて頼りになる事業所になってほしい。	事業所で開催するイベント等を通じて事業所のPRを行い、多くの人に見学に来ていただき、事業所の理解を深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			利用者さんだけに目を向けるのではなく、近所の方や周りの「困った」に気づき必要な支援に繋ぐことのできる事業所を目指してほしい。	利用者さんとのつながりのある人と事業所もつながっていけるように、お互いに声をかけやすい関係づくりを実践していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			地域の困りごとを皆で考え、意見を出し合うことができるような運営推進会議としたい。	利用者さんの心配ごとを報告した時に、地域の心配事についても意見を出し合い、地域の問題として皆で考え改善していくことができるようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策			今後も地域の方にも協力して頂きながら消防訓練を実施したらよいと思う。いざという時に迅速に動けるように備えをしてほしい。	今後も近隣住民の方や消防団、自主防災会、民生委員さんにも協力いただきながら定期的に消防訓練を実施していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	1		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7	4	2		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	3		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人だけではなく、家族の方との関わりも大切にしながら、本人・家族のニーズ、困りごと等の情報を収集し、職員皆で情報の共有をする。情報の共有方法としては、ミーティングや回覧版、申送りノートなどを用い、細かな情報も皆で共有する仕組みをとることで、利用者さんに早く馴染んで頂けるような声かけや対応に努めている。家族とも連絡ノートを活用して通いや泊りの様子をお知らせする事で安心感やその人の持つ力を感じて頂けるように支援できている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>初回面接から初回利用までの期間が短くミーティングの開催が難しい場合、回覧等の文書で情報の共有をしているが、時に誤認解釈もあり、統一したケアができていないことがある。</p> <p>初回利用時などはお互いに信頼関係が築けていないため、利用者さんのことを「知ろう」「知りたい」という関わりが大切だが、反応により消極的になって本人の気持ちに気づけないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>情報を共有する時に、可能な限り事前にミーティングを行い、難しい場合でも文書だけではなく、口頭で説明、伝達することで、もっと確実に統一したケアを実践していく。また、消極的にならず利用者さんのことを「知りたい」と言う気持ちを大切にして積極的にかかわること、そして知った情報を随時共有することで、チームが連携して利用者さん・家族の安心と信頼関係を早期に築いていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画  
ケア記録を通して振り返りを行い、統一したケアを実践していくことでよりよいサービスを継続的に提供していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
新規スタッフには難しい面もあったが、ケア記録を通じて各スタッフの気づき等を振り返り、統一したケアを実践することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	3	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	2	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	7	2	2	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	1	2	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の目標に向かってケアすることができるように本人や家族との会話の中から生活状況や思いを感じとり、本人の意向に添えるようその人のペースに合わせてかかわることができている。また問題や不安が生じた時は、ミーティングで話しあいや振り返りを行ったり、その前後の様子などケア記録を用いて考察を行ったりすることでスタッフ皆が本人の気持ちの変化に気づき、本人・家族が笑顔で望む暮らしができるよう努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
個々の表面化したニーズは満たすことができても、潜在的なニーズや意思表示が難しい利用者さんに対する満足のいく支援ができていない時もある。理由としては、本人の本当の気持ちがスタッフの思いや支援していることと違うかもしれないからである。  
ミーティング時に一人ひとりの生活の変化やニーズについて話し合うが、その先にはいつも本人の目標がなければならない。目標を意識した話し合いが十分ではなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
スタッフ個々で感じている支援内容をミーティングで取り上げ検討し合い、できるだけ本人の思いに近づけるような目標 (ゴール) を決める。その目標について修正が必要な場合は随時、話し合う機会を設け、皆の意見を一つにして、統一したサービスが提供できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	8 人	2 人	人	13 人

前回の改善計画	ケア記録を通して振り返りを行い、統一したケアを実践していくことでよりよいサービスを継続的に提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の気持ちや体調の変化等、ケア記録を通じて各スタッフの気づき等を振り返り、統一したケアを実践することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	5	4	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	3	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	6	2		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>体調の変化、気持ちの変化に気づいた時にはすぐにスタッフ間で意見交換をしながら情報を共有し、家族も交えて原因を考え支援に結びつけることができている。また、利用者さん一人ひとりの状況に合わせて食事の量や硬さ、入浴の時間や声かけ、排泄の声かけや見守り等に配慮し個々に応じたケアをミーティングで共通認識しながらチームケアに取り組むことができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>初回面接の時に「私の暮らしシート」の説明をして、本人・家族から今までの生活歴を記入して頂き、今まで生活してきた背景を把握しているつもりでも、つつい現在のことや来所時のことだけを考えた支援になってしまい、以前の暮らし方の継続に繋がる支援ができていない。しかし、「私の輝きシート」を活用して、その人の大切にしてきた物や人、本人の力になるようなことに働きかけ本人らしく生活できるように努めている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>「私の暮らしシート」や「フェイスシート」をもっと共有しやすくして、一人ひとりのこれまでの暮らしぶりが描けるようにしていく。利用者さんのことを知りたい・知ろうという気持ちを大切に知った情報は「私の暮らしシート」や「フェイスシート」に追記していく。こういう記録や関わりを持つことで自分らしく生きるための支援をチームで実践していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画  
無し

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	2	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	2	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	4	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	5	3	2	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
地域のひととの交流ができるように地域行事には積極的に参加している。送迎時には家族への声かけはもちろん、近所の人に出会ったら本人も交えて挨拶や会話をする時間を大切にしている。また、地域資源も有効に活用することで今までの関係を切らないように、できるだけ本人が望む人間関係を継続できるよう支援できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
本人を取り巻く近所・知人との関わりが希薄になり地域から孤立してきている利用者さんに対して、地域とのつながりを保っていくことが難しい。そういう利用者さんは家族が遠方の場合が多く、離れている家族が本人の細かな生活の様子などを知らないこと、わからないことが近所の人や知人の「支援する力」を奪っているのではないかと考えられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
家族が遠方にいる利用者さんは色々な「困った」が生じた時、知らず知らずのうちに地域の人達から守られている。しかし、そのことを家族が知らないことで地域との関係性を悪くしてしまうことも考えられる。そのため日々の生活の様子や近所でお世話になったこと、出来事等を随時家族に伝えることで家族の方にも地域に守られていることを感じて頂き、遠く離れていてもふるさとへの気持ちをつなぐ支援(密な連絡)を行い、一緒に感謝したりと関わりを持ちながら取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	8			13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	10			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	7			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	7			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用できる地域資源を把握し、利用者さんを取り巻く環境の中で望む生活が送れるように調整を行っている。また、サービスの柔軟性を生かし、できるだけ本人・家族の希望に添えるよう予定変更やサービス内容の変更、利用時間についても柔軟な対応を行っている。毎日のケアの中で個々の細かな変化を見落とさないよう気づきを大切に、スタッフ全体で情報の共有を行い、その時々での状況に合わせたサービスの調整ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	7	6			13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	10			13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	6	7			13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6	7			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域ケア会議の参加や他事業所 (福祉用具やグループホーム等) と情報交換を行いながら必要時には情報の共有や確認ができている。近所の方や消防団・自治会にも協力して頂き消防訓練を行うことでいざという時の助け合いのしくみづくりにも取り組んでいる。また地域のイベントには積極的に参加し、事業所内でも夏祭りやクリスマス会、歌や踊り、餅つき等の交流をして色々な世代の地域の方と交流する機会をもっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の拠点として頼り頼られる事業所になるために、もっと事業所のことを知ってもらいたいが、アピール不足や小規模多機能居宅介護事業の知名度の低さからか事業所のことを知らない人が多い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域のイベントには今後も積極的に参加してふれあいを大切にしていく。また地域の各種団体の方や保育園児から小・中・高校生が事業所に交流やボランティア活動で来所してくれるが、これからも地域の方が遊びに来てくれたり、相談に来てくれたりと頼ってくれるような「お互いさま」の関係を築いていく。より多くの方に事業所のことを知ってもらうためにも見学会を開いたり、情報誌等で事業所をアピールしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

7. 運営

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	10	1		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8		2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9		2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	8		2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフ全員が自分の意見を言いやすい環境づくりに努め、事業所の基本理念を道標に同じ方向性でケアに取り組むことでより良い事業所になるよう努めている。 意見や苦情に関してはアンケート調査を年に 1 回実施して、利用者さんや家族の方の声を聞く機会を作っている。また、玄関に苦情申し立て箱を設置している。本人、家族、ボランティアの方等からの要望があった場合には、すぐにスタッフ間で話しあい解決することができる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 毎年アンケート調査を行い、家族や利用者さんの率直な意見を収集し、その意見をスタッフ間で共有することはできているが、回覧等で情報共有を行いミーティングで振り返りの時間を持っていないため、その意見を参考に皆で話し合う機会が持てずサービス内容やケアの内容に反映できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) アンケート調査を行った時は、ミーティングでアンケート結果を振り返る時間を持ち、その意見を参考にサービス内容やケア内容に反映し、事業所の質を上げる努力をしていく。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	6	1		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	9	1		13
③	地域連絡会に参加していますか	4	9			13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	10			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>定期的に研修 (事業所内・外) を実施・参加する機会を作りスタッフ全員が研修に参加できるよう計画に基づいた研修の受講を行っている。研修参加後はミーティングで報告し合いながら事業所全体の質の向上にも努めている。</p> <p>リスクマネジメントに関しては、積極的に記録に残しミーティングで話しあうことで、利用者個々のリスクについて分析し、事故を未然に防ぐ取り組みをしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>内部研修については自由参加のため、研修前には積極的な参加を呼びかけてはいるが、参加したくても勤務の都合で参加できないことがある。在宅介護研修センター等からの研修案内は回覧で周知するようにしているが、参加者は少なく、なかなか個々でスキルアップに向けた自発的な取り組みができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>外部研修に関しては年間計画を立て、興味のある研修を選んで参加できるよう便宜を図り研修へ参加してもらっている。内部研修に関しても自発的に研修に参加して頂けるように計画を立てて勤務と重ならないようなしくみを作っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 田坂・小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・松田・木村・川崎 全スタッフ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
無し	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	9	4			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	6			13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	11	2			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束・虐待防止、プライバシーの保護については、スタッフ全員が利用者さん一人ひとりの尊厳を守るために意識して人権尊重の取組みをしている。毎年必ず身体拘束・虐待防止、個人情報の取り扱いに関しては内部研修を実施しており、外部研修にも積極的に参加し知識と技術の向上に努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>感情的になりやすい利用者さんに対して同じように感情的になり、相手の気持ちを考えずに言葉を使ったり、気づかないうちに何気ない言葉を発してしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>限られた時間内に限られたスタッフで利用者さんの多様なニーズの対応をしていかなければならないケアの現場では時にイライラしたり感情的になることもあるが、感情をコントロールできずに利用者さんに怒りをぶつければ虐待につながっていく。自分で感情コントロールができる技術を身に付けることが大切だが、こういう時こそスタッフがチームで関わり、別のスタッフがそっと交代し気分転換を図る時間を作ること非意図的な虐待も 0 を目指す。</p>	